

# 患者さんパンフレット

四国がんセンター  
血液腫瘍内科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようお手伝いいたします
  
- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようお手伝いいたします



# G-CHOP療法を 受けられる方へ

さま

主治医

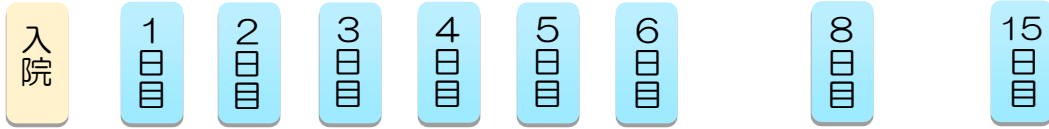
受け持ち看護師

2020年10月20日 作成  
2023年10月17日 改定

# G-CHOP療法のスケジュール

## 初回点滴投与のスケジュール

1コース（21日間）

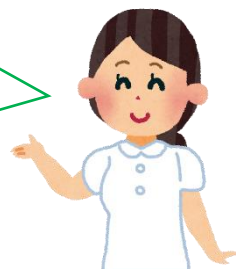


- この他に、アレルギー予防や発熱予防のための注射薬や内服薬があります
- 2コース目以降の投与スケジュールは初回スケジュールと異なります  
詳しいスケジュールについては、医療スタッフより説明があります

## 安全に点滴を行うために

- 正確に点滴液を投与するために輸液ポンプを使用します
- 点滴が入っている部位を曲げたりねじったり、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
- 歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります  
点滴台は支えにしないようにしましょう

- \* 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- \* 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき
- \* 点滴を開始してから、気分が悪くなったり、呼吸がしづらくなるような症状が出たとき



こんなときは看護師にお知らせください

## 入院中の生活の注意点

- ◆感染予防のためにマスクを着用し、手洗いうがいをしましょう
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりとりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください



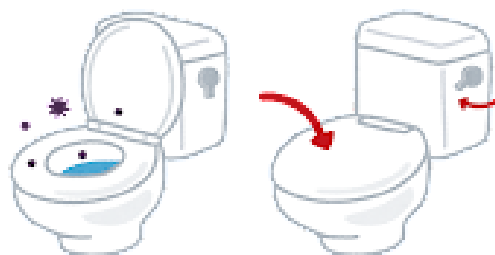
- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます。尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- 男性の方は飛び散り防止のため、  
座って排尿しましょう



- 尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう  
2度拭き取ると良いでしょう

- トイレの後、フタがある場合は、  
フタをして水を2回流しましょう



- トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- 尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

# ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、日々の目標として患者さんご自身の目標をかかげ、さらによりよい状態で退院を迎えられるよう医療スタッフの目標もあげています

入院は約3週間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます





### 今日の目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>	<予定>	
10:00	入院 検温	<p>【入院後に以下のことを予定しています】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）</li> <li>・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り</li> <li>・歯科受診（治療後は、週2回、口腔内の診察があります）</li> </ul>
12:00	昼食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります</li> <li>*医師、薬剤師の説明時間はこちらからお知らせします ご家族の方もお待ちください</li> </ul>
14:00	検温	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に制限はありません</li> <li>・シャワー浴をしましょう</li> <li>・かかりつけの病院について、看護師が確認を行います かかりつけの病院がない場合には、希望するかかりつけの病院について、確認を行います</li> </ul>
		<p>&lt;お薬&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の病院で処方されたお薬については、一度お預かりし医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします</li> </ul>
18:00	夕食	<p>&lt;食事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に制限はありません</li> <li>・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります</li> <li>・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください</li> </ul>
19:00	検温	
		<p>わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください</p>
21:30	消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眠れないときはお知らせください</li> </ul>



### 医療スタッフの目標

- ・入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します



# 抗がん剤投与1日目 月 日



## 今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・転倒しない

<時間>

<予定>

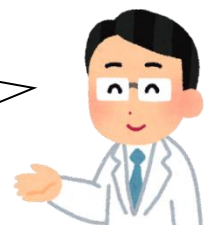
6:00	起床、洗面、検温
7:30	朝食
10:00	検温、体重測定 (体重は点滴開始までに測定し、検温表に記入してください)
	点滴を始めます
	①アレルギー予防の点滴 【15分】 アレルギー予防と解熱剤の内服
	②生理食塩水 【1時間】
	③ガザイバ(抗がん剤) 【約5時間】 ※30分毎に点滴の速度を調整します
	④生理食塩水 【30分】
12:00	昼食
14:00	検温
18:00	夕食
19:00	検温
21:30	消灯



フタをして水を  
2回流しましょう

## 医療スタッフの目標

- ・アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





- 点滴の開始時間や終了時間は前後することがあります
- アレルギー症状の早期発見のため、点滴中は心電図モニターを装着します  
また、頻回に伺い、検温・血圧測定を行います
- 息苦しい、胸がドキドキする、体が痒いなど、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
- 点滴が入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは  
すぐにお知らせください
- 抗がん剤が血管の外に漏出することを防ぐため、点滴中はなるべくベッドで  
安静に過ごしてください
- 点滴中はトイレなどの歩行時に転ばないように注意しましょう
- 点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります  
点滴台は支えにしないようにしましょう
- 点滴終了後は、シャワー浴ができます  
体調に応じて体を拭くこともできます
- 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう
- 「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレットも  
参照してください



## MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



### 今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・転倒しない

<時間>

<予定>

6:00

起床、検温  
洗面

7:30

朝食

点滴開始60分前に吐き気止めを服用します  
内服の時間は看護師がお伝えします

10:00

検温、体重測定  
(体重は点滴開始までに測定し、検温表に記入してください)

点滴開始時に**プレドニン錠**を服用します  
点滴を始めます

①吐き気止め	【30分】
②ドキシソルピシン (抗がん剤)	【30分】
③オンコビン (抗がん剤)	【約5分】
④エンドキサン (抗がん剤)	【約10分】
⑤生理食塩水	【約5分】

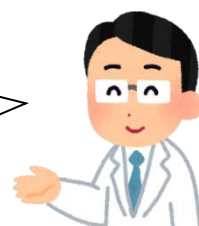
- ・点滴中はトイレなどの歩行時に注意しましょう
- ・点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります  
点滴台は支えにしないようにしましょう

12:00

昼食

### 医療スタッフの目標

- ・アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



<時間>	<予定>
14:00	検温
18:00	夕食
19:00	検温
21:30	消灯

フタをして水を  
2回流しましょう



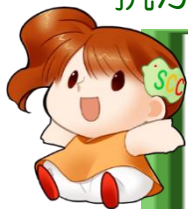
- 点滴が入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- 吐き気などの気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
- 食事やトイレなど必要時以外は、病室内でお過ごしください
- 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます
- 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう



- 点滴が終了すればシャワー浴ができます
- 体調に応じて体を拭くこともできます
- 看護師がお手伝いしますので、声をかけてください

## MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床、検温  
洗面

- 歩行時のふらつきに注意しましょう
- 体がしんどいときなどは無理をしないで看護師へ声をかけてください

7:30

朝食前に**アプレピタントカプセル**（吐き気止め）を服用します  
朝食  
朝食後に**プレドニン錠**を服用します



フタをして水を  
2回流しましょう

10:00

検温、体重測定

12:00

昼食  
昼食後に**プレドニン錠**を服用します

14:00

検温  
シャワー浴ができます  
体調に応じて体を拭くこともできます  
看護師がお手伝いしますので声をかけてください



18:00

夕食

- 副作用（吐き気、食欲不振など）があればお知らせください
- 点滴が入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます
- 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう

19:00

検温

21:30

消灯

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます





### 今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 37.5℃以上の発熱時は医療スタッフに伝えることができる
- 感染予防行動がとれる

<時間>

<予定>

6:00 起床、検温  
洗面

- 歩行時のふらつきに注意しましょう
- 体がしんどいときなどは無理をしないで看護師へ声をかけてください

7:30 朝食  
<抗がん剤投与5日目・6日目>  
朝食後に**プレドニン錠**を服用します

10:00 検温、体重測定

- \* 骨髄抑制の時期です  
37.5℃以上の発熱があれば  
すぐに看護師に伝えてください

12:00 昼食  
<抗がん剤投与5日目・6日目>  
昼食後に**プレドニン錠**を服用します

14:00 検温

シャワー浴ができます  
体調に応じて体を拭くこともできます  
看護師がお手伝いしますので声をかけてください



18:00 夕食

- 副作用（吐き気、食欲不振、便秘など）があれば、お知らせください
- 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます
- 感染予防のために**マスクを着用し、手洗い・うがい**をしましょう
- 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう
- 口の中に痛みや腫れなどの口内炎症状があるときは塗り薬やうがい薬を使います

19:00 検温

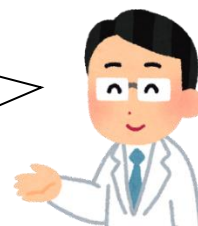
21:30 消灯

### MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

### 医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 室内環境を整え、感染防止に努めます





### 今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 転倒しない
- 37.5℃以上の発熱時は医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00	起床、洗面、検温
7:30	朝食
10:00	検温、体重測定 (体重は点滴開始までに測定し、検温表に記入してください) 点滴を始めます
	①アレルギー予防の点滴 【15分】 アレルギー予防と解熱剤の内服
	②生理食塩水 【1時間】
	③ガザイバ(抗がん剤) 【約4時間】 ※30分毎に点滴の速度を調整します
	④生理食塩水 【30分】
12:00	昼食
14:00	検温
18:00	夕食
19:00	検温
21:30	消灯



フタをして水を  
2回流しましょう

### 医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



- 点滴の開始時間や終了時間は前後することがあります
- アレルギー症状の早期発見のため、点滴中は心電図モニターを装着します  
また、頻回に伺い、検温、血圧測定を行います
- 副作用（吐き気、食欲不振など）があれば、我慢をしないでお知らせください
- 点滴が入っているところが、赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、  
すぐにお知らせください
- 抗がん剤が血管の外に漏出することを防ぐため、点滴中はなるべくベッドで  
安静に過ごしてください
- 点滴中はトイレなどの歩行時に転ばないように注意しましょう
- 点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります  
点滴台は支えにしないようにしましょう
- 点滴終了後は、シャワー浴ができます  
体調に応じて体を拭くこともできます  
看護師がお手伝いしますので、声をかけてください
- 37.5℃以上の発熱があれば、すぐに看護師に伝えてください
- 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう

## MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



### 今日の目標

- 副作用症状出現時は医療スタッフに知らせることができる
- 感染予防行動がとれる
- 37.5℃以上の発熱時は医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00 起床、洗面  
検温

7:30 朝食

- 歩行時のふらつきに注意しましょう
- 体がしんどいときなどは無理をしないで看護師へ声をかけてください

10:00 検温、体重測定

フタをして水を  
2回流しましょう



12:00 昼食

14:00 検温

\* 骨髄抑制の時期です  
37.5℃以上の発熱があれば  
すぐに看護師に伝えてください

シャワー浴ができます  
体調に応じて体を拭くこともできます  
看護師がお手伝いしますので声をかけてください



18:00 夕食

- 点滴が入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます
- 感染予防のためにマスクを着用し、手洗い・うがいをしましょう

19:00 検温

- 37.5℃以上の発熱があればすぐに看護師に伝えてください
- 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう
- 口の中に痛みや腫れなどの口内炎症状があるときは、塗り薬やうがい薬を使います

21:30 消灯

### 医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 室内環境を整え、感染防止に努めます







今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 37.5℃以上の発熱時は医療スタッフに伝えることができる
- 感染予防行動がとれる

<時間>

<予定>

6:00

起床、検温  
洗面、歯磨き

- 歩行時のふらつきに注意しましょう
- 体がしんどいときなどは無理をしないで看護師へ声をかけてください

7:30

朝食

10:00

検温、体重測定

12:00

昼食

- \* 骨髄抑制の時期です  
37.5℃以上の発熱があれば  
すぐに看護師に伝えてください

14:00

検温

シャワー浴ができます  
体調に応じて体を拭くこともできます  
看護師がお手伝いしますので声をかけてください



18:00

夕食

- 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます
- 感染予防のためにマスクを着用し、手洗い・うがいをしましょう
- 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう
- 口の中に痛みや腫れなどの口内炎症状があるときは、塗り薬やうがい薬を使います

19:00

検温

21:30

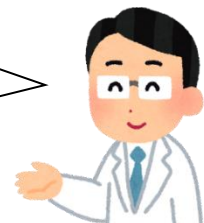
消灯

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 室内環境を整え、感染防止に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 転倒しない
- 37.5℃以上の発熱時は医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00 起床、洗面、検温

7:30 朝食

10:00 検温、体重測定  
 (体重は点滴開始までに測定し、検温表に記入してください)  
 点滴を始めます

①アレルギー予防の点滴 【15分】

アレルギー予防と解熱剤の内服

②生理食塩水 【1時間】

③ガザイバ(抗がん剤) 【約4時間】

※30分毎に点滴の速度を調整します

④生理食塩水 【30分】

12:00 昼食

14:00 検温

副作用と対策について説明します  
 治療15日目頃：脱毛について  
 「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照  
 「がん治療による脱毛に備えて(頭髪編)」のパンフレット参照

18:00 夕食

19:00 検温

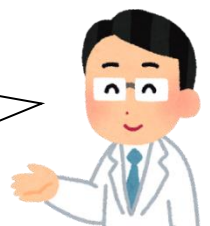
21:30 消灯



フタをして水を  
2回流しましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



- 点滴の開始時間や終了時間は前後することがあります
- アレルギー症状の早期発見のため、頻回に伺い、検温、血圧測定を行います
- 副作用（吐き気、食欲不振など）があれば、我慢をしないでお知らせください
- 点滴が入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- 抗がん剤が血管の外に漏出することを防ぐため、点滴中はなるべくベッドで安静に過ごしてください
- 点滴中はトイレなどの歩行時に転ばないように注意しましょう
- 点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります  
点滴台は支えにしないようにしましょう
- 点滴終了後は、シャワー浴ができます  
体調に応じて体を拭くこともできます  
看護師がお手伝いしますので、声をかけてください
- 37.5℃以上の発熱があれば、すぐに看護師に伝えてください
- 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう

## MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



### 今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 感染予防行動がとれる
- 37.5℃以上の発熱時は医療スタッフに伝えることができる

<時間>                      <予定>

6:00                      起床、洗面、検温

7:30                      朝食

- 歩行時のふらつきに注意しましょう
- 体がしんどいときなどは無理をしないで看護師へ声をかけてください

10:00                     検温、体重測定



フタをして水を2回流しましょう

12:00                     昼食

- \* 骨髄抑制の時期です
- 37.5℃以上の発熱があればすぐに看護師に伝えてください

14:00                     検温

シャワー浴ができます  
体調に応じて体を拭くこともできます  
看護師がお手伝いしますので声をかけてください



18:00                     夕食

- 点滴が入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます
- 感染予防のためにマスクを着用し、手洗い・うがいをしましょう
- 37.5℃以上の発熱があればすぐに看護師に伝えてください
- 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう
- 口の中に痛みや腫れなどの口内炎症状があるときは、塗り薬やうがい薬を使います

19:00                     検温

21:30                     消灯

### 医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 室内環境を整え、感染防止に努めます





## 今日の目標

- 退院後の日常生活について理解することができる

<時間>

<予定>

6:00 起床、検温  
洗面

7:30 朝食

10:00 検温、体重測定

12:00 昼食

14:00 検温

- 歩行時のふらつきに注意しましょう
- 体がしんどいときなどは無理をしないで看護師へ声をかけてください

- ◆退院後の日常生活について看護師より説明があります
- ◆今後、外来治療を受ける方は、通院治療室の説明と見学があります  
見学時間は看護師からお伝えします  
このパンフレットを持っていきましょう

シャワー浴ができます  
体調に応じて体を拭くこともできます  
看護師がお手伝いしますので声をかけてください



18:00 夕食

19:00 検温

21:30 消灯

- 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます
- 退院後も感染予防のためにマスクを着用し、手洗い、うがいを続けましょう
- 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう
- 口の中に痛みや腫れなどの口内炎症状があるときは塗り薬やうがい薬を使います

## MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

## 医療スタッフの目標

- 退院の準備がすすめられるよう支援します



退院日 月 日



今日の目標  
・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床、検温  
洗面、歯磨き

7:30

朝食

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします  
2階窓口で支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします  
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院

退院前に忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診日は

月 日 時の予定です

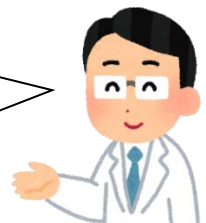
外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります  
(状況に応じて検査があります)

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・安心して退院できるよう支援します
- ・退院後の日常生活に不安がないよう支援します





「暖だん」では脱毛や爪障害に関連した製品を展示しています



ウィッグ製品展示室で、定期的に協力メーカーのアドバイザーによる相談会を開催しています

がん治療による脱毛や爪傷害に関連した製品の試着もできます

お気軽にお越しください



アドバイザーによる相談会の開催日は  
医療スタッフにご確認ください

# 退院後の日常生活について

## ★食事

バランスの良い食事を心がけましょう

食欲がないときは無理をせず、食べやすいものを食べられるときにとるようにしましょう

脂っこいもの、消化に悪いものや刺激物は避けましょう

においのないもの、のど越しの良いもの、味の濃いものが食べやすいようです  
個別で避けたほうがいい食品がある場合は、医療スタッフから説明します



## ★お薬

お薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください

他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

\* 37.5℃以上の発熱がある場合の対応について

- 処方されているお薬を指示に従って服用してください
- お薬を飲み始めたら、処方されている期間は飲み続けましょう
- ただし、飲み始めて「湿疹が出る」「下痢がひどい」など異常があれば、服用をやめ、がん相談支援センターに相談しましょう

## ★清潔

入浴やシャワー浴をして体を清潔にしておきましょう

発熱時やだるさが強い場合は、入浴を控え温かいタオルなどで拭くようにしましょう

冬場など皮膚が乾燥していると皮膚が弱くなり、感染を起こしやすくなります  
市販の保湿クリームなどで保湿をしましょう

抗がん剤の投与後、およそ5日目から10日目頃に口内炎が発生しやすくなります

- 歯ぐきの傷つきを防止するため、歯ブラシは小さめの毛の柔らかいブラシを使うとよいでしょう
- やわらかい料理（お粥や、やわらかく煮込んだうどんなど）を多めにしたり、とろみをつけたり、裏ごしすると食べやすいです
- 料理は熱いものを避け、冷まして食べると炎症部位への刺激が少なくなります  
塩分や酸味、香辛料の強いものは避けるとよいでしょう

## ★活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう

疲れたときは十分な休息をとりましょう



## ★受診

定期的に外来を受診してください

外来受診時に検査のある場合は、医師から説明があります  
検査は状況に応じてあります





# 外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

## 通院治療の流れ

①受付



Bブロック

②採血  
中央処置室



☆採血時のお願い☆  
採血場所や注意することは退院前に確認しておきましょう  
点滴予定の腕とは反対の腕で採血してもらってください



採血結果が出るまで、  
約30分～1時間かかります

③診察受付  
A、B、C、S各ブロック

Aブロック

Bブロック

Cブロック

Sブロック

呼吸器科  
消化器科  
緩和ケア  
精神腫瘍科  
感染症腫瘍内科  
骨軟部腫瘍・整形外科

泌尿器科  
血液腫瘍内科  
原発不明がん診療科

④診察

乳腺科  
婦人科  
形成・再建皮膚腫瘍外科  
頭頸科・甲状腺腫瘍科

消化器科  
糖尿内科  
循環器科  
皮膚科  
眼科  
リンパ浮腫

## 治療決定

Sブロック

⑤治療  
通院治療室

外来では、  
看護師が点滴の針を刺し、  
確認後に抗がん剤を開始します

## 治療終了



検査の説明を受ける方は、予約センターへ

他の診療科で診察のある方は、各診療科受付へ

⑥会計

予約センターは  
B受付の隣です



処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

**\*お薬の処方がある方へ**

会計終了後に処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

## 通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行いますので、少しお時間を頂きます。
- ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料でご利用できます。また、ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。但し、ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- ご家族の待機場所は、「暖だん」や「図書コーナー」などがありますのでご利用ください。必要時には、付き添うこともできます。
- 副作用や日常生活で困っていることなど、相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。





- ◆吐き気が続き、水分・食事がほとんどとれない日が続くとき
- ◆転んだり、けがをしたときに圧迫しても傷口からの出血が止まらないとき
- ◆体を起こすこともできないほどの強いだるさが続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、  
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15  
四国がんセンター がん相談支援センター  
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】  
日直/夜間当直師長  
(代表番号) 089-999-1111

\* 外来受診日や検査予約日の変更については、  
予約センターにご連絡ください

【平日】 8：30～17：15  
(直通番号) 089-999-1112



G-CHOP療法を受けられる方へ